

第6学年 特別の教科 道徳 学習指導案

第6学年1組

1 主題名 働く意義 C 勤労、公共の精神

2 教材名 「『働く』って、どういうこと？」 (出典：光村図書「どうとく」)

3 本時

(1) ねらい

働くとはどのようなことかを考えさせ、働くことの意義を理解し、自己実現を図るとともに、公共のために役に立つことをしようとする実践意欲を育てる。

(2) 展開

	主な学習活動 ○発問 ・予想される児童の反応	○指導上の留意点 ☆評価
導入	(1)「働くこと」へのイメージ共有 ○「働くこと」のイメージはいいものですか、悪いものですか ・ いい 喜んでもらえるから。 結果が出せたらうれしいから。 お金が稼げるから。 ・ 悪い 帰りが遅くなるが多そう。 疲れるだけ。 先輩や上の人に怒られるのが嫌。	○仕事の意義に議題が偏らないようにする。あくまでも、仕事への印象を問う。
展開 前 段	(2)「働くことのよさ」とは何かを考える ①二人のエピソードに「働くことのよさ」はありましたか。 ②二人は誰かに感謝されるために働いているのでしょうか。	○仕事に対する思いがなかなか見つけられない児童のために、島田さんや、與猶さんの話を資料として活用する
展開 後 段	③人は、なんのために働いているのでしょうか。 ・ 自分の生活や周りの生活を豊かにするため ・ 自分の楽しいことに一生懸命取り組むため ・ 達成感や充実感を味わうため ・ 誰かに喜んでもらうため ・ 自分の夢を叶えるため	○周りの友達がどんな考えをもっているのか知るために、ペアで相談する時間をとる。 ☆人は何のために働くのかを考え、社会生活を支えるものであることに気付くことができる。
終 末	(3)ワークシートに振り返りを書く	○授業を通して、自分自身はどんなことを大切にして働きたいかを考えて書くように助言する。